



まちの話題



社会体験！ もりもりタウン2019



宝くじ助成事業で整備しました

替地自治会では、宝くじ助成事業（財団法人自治総合センター「コミュニティ助成事業」）を活用して、替地集会場の備品を購入しました。
テントなどの備品を整備したことにより、軽くて使いやすくなりました。また、はつぴや露店用の鉄板を新たに購入したため、地域活動の際に多くの人が集まることで、活動の活発化が期待されます。

NPO法人子どもと文化の森主催の『ごども・仲間・つくるまち もりもりタウン2019』が町民会館で開催され、8月22日(木)から24日(土)の3日間延べ約650人の子どもたちで賑わいました。
もりもりタウンは、子どもたちだけで「まち」を運営し、働いてお給料（ダッシュ）をもらい、買い物やゲームをして働くことの楽しさなど、社会の仕組みを学びます。
子どものお店のほか、さまざまな職業をもつ大人のお店もあり、子どもたちは貴重な体験をしました。

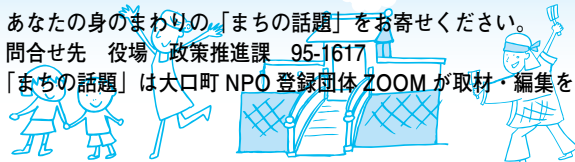


お楽しみがいっぱい♪ちびっこ縁日



夏休み期間中の児童センターは小学生の利用が多いため、北児童センターでは3歳未満の子ども向けに1日限りの「ちびっこ縁日」を開き、約50名の親子連れが楽しい時間を過ごしました。
保育士が手作りした仕掛けおもちゃ屋台「はげばけのぞき」「たこすみくじびき」などをめぐり、縁日を楽しみました。
甚平を着てちびっこ縁日に訪れた子どもたちも多く、センターはお祭りらしい雰囲気になりました。

8 / 19
月



▲ 1 回 500 円 (お茶・お菓子付) 随時参加できます



▲ 曲の間のおしゃべりも楽しい時間です

みんなで歌おう！懐かしのうたごえ喫茶



うたごえ喫茶の問合せ先
 ウィル大口スポーツクラブ (☎ 95-1313)

1950年代から60年代にかけて若者を中心に流行した「うたごえ喫茶」。そんな懐かしいうたごえ喫茶をウィル大口スポーツクラブが中央公民館(月2回 金・土)で開いています。同クラブ山田裕美子さんリードのもと生伴奏をバックに、童謡から昭和歌謡、最近の曲ではNHKの朝ドラの主題歌をみんなで一緒に歌います。歌うことによって得られる健康効果は、「ストレス発散」「呼吸器官が活発になり全身の血行がよくなる」「右脳と左脳をバランスよく使い、記憶力を高める」などの効果があるそうです。「歌を歌うのってすごく気持ちいいよ」と楽しそうに話す参加者。

8 / 24
土



▲ 自転車シュミレーションと自動安全装置搭載も試乗

北地域自治組織が、ほぼえみプラザで、第5回交通安全教室「交通事故に遭わないために」自分の身を守る危険予知を開きました。「自動車保有台数が全国で最多の愛知県は、昨年も交通事故死亡者数ワーストの不名誉な記録を16年連続で更新しています」と、江南自動車学校の武藤欣司さん。また、ドライブレコーダーや安全装置に対する知識など、進化し続ける自動車について話されました。

交通事故のない大口町へ



▲ AEDに小児モードがない場合は、シートを前後に貼ります

子育て支援センターで、乳幼児の急な体調変化など、いざという時に役立つ、AEDの使い方、胸骨圧迫、人工呼吸の方法、また、緊急の事態に直面したとき、少しでも冷静に対応できるように務めることの大切さを学びました。「救急要請が多い熱性けいれんです、落ちていて、けいれんが起った時間、治まった時間などを到着した救急隊員に伝え、状態の判断につながります」と、消防士の佐藤さん。

乳幼児の救命講習会

9 / 7
土

9 / 6
金